

区別計画策定に向けた検討シート（北区）

1 区の概況

人口・世帯	<ul style="list-style-type: none"> ・人口は309,496人（H27国勢調査速報値）で本市の43.0%を占めており、4区の中で最大。平成22年国勢調査から2.3%増加。 ・中心市街地近郊部では人口の増加傾向が続いており、中心市街地も近年減少傾向に歯止めがかかっている。一方で、御津、建部地区をはじめ北部の中山間地域等では人口減少傾向にある。 ・人口密度は686.7人/k㎡であり、市平均の910.9人/k㎡を下回っている（H27国勢調査速報値）。中心市街地エリアでは8,032人/k㎡と特に高く、一方で、御津地区では85人/k㎡、建部地区では68人/k㎡と低い（H22国勢調査）。 ・高齢者人口比率は21.1%（H22国勢調査）であり、市平均よりも若干低いが、北部の中山間地域等では、既に高齢者人口比率が30%を超える地域がある。 ・年少人口比率は13.4%（H22国勢調査）と4区の中で最も低い。 ・一世帯当たりの人員数は2.12人（H27国勢調査速報値）と4区の中で最も少なく、単独世帯が4区の中で最も多い。 ・区民のうち外国人住民が占める割合は約2%で、4区の中でも特に高い。 ・昼間人口が夜間人口を約6万人上回り、4区の中で唯一流入超過。 						
地勢・都市環境	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17、19年の合併により、旧御津町、旧建部町エリアを含み、区域の面積は450.7k㎡と岡山市の約57%を占めており、4区の中で最も広い。 ・中心部は、県庁、市役所、裁判所等、国・県・市の各種行政機関が集中するとともに、JR岡山駅及び表町周辺には銀行・デパート・オフィスビル等の商業・業務機能が集積。 ・JR線岡山駅・岡山空港・山陽自動車道岡山ICなど広域交通網の拠点が集積。 ・中心部では、コミュニティサイクル（ももちゃり）が整備されている。 ・緑豊かな中山間地域と清流旭川等に沿って開けた岡山平野からなり、中心部の近郊には半田山、京山、吉備の中山などの古くから生活に密着してきた里山がある。 						
地域資源	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">歴史文化伝統</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・古代吉備の昔から積み重ねられた豊かな歴史・文化資産があり、文化財数は本市の約75%を占めている。 ・中心部には岡山のまちのルーツとなる岡山城や岡山後楽園があり、外国人入場者数が近年増加傾向にある。 ・北西部には、造山古墳など全国屈指の大古墳、吉備津神社、吉備津彦神社、高松城跡や足守の陣屋町、近水園など古代吉備文化以来の歴史・文化遺産が数多く存在し、吉備路特有の豊かな歴史風土を形成。 ・吉備地区には、撫川城跡、庭瀬城跡や犬養木堂の生家などの歴史文化資産がある。 ・中心部では「吉備津彦の鬼退治の神話」に登場する「温羅（うら）」を由来とするうらじゃ踊りが1994年から開催。 ・宮内踊り、建部地区のはっばね桜祭り、建部祭り、志呂神社御供、御津地域の獅子舞フェスタなどの地域の伝統行事が今に受け継がれている。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">自然景観</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・中心部には旭川の水辺や西川・枝川緑道公園があり、ホテルも見られる。 ・オオタカやムササビ、スイゲンゼニタナゴ、ナゴヤダルマガエルなど貴重な野生生物が生息し、各地域で保全活動が行われている。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">特産品</td> <td> <p>農産物：一宮・津高地区の桃やマスカットなどのぶどう、足守地区の温室メロン、牧石地区の黄にら、御津地区の山の芋、建部地区のヨーグルト</p> <p>水産物：旭川流域の鮎</p> <p>特産物：烏城彫り、烏城紬、撫川うちわ</p> </td> </tr> </table>	歴史文化伝統	<ul style="list-style-type: none"> ・古代吉備の昔から積み重ねられた豊かな歴史・文化資産があり、文化財数は本市の約75%を占めている。 ・中心部には岡山のまちのルーツとなる岡山城や岡山後楽園があり、外国人入場者数が近年増加傾向にある。 ・北西部には、造山古墳など全国屈指の大古墳、吉備津神社、吉備津彦神社、高松城跡や足守の陣屋町、近水園など古代吉備文化以来の歴史・文化遺産が数多く存在し、吉備路特有の豊かな歴史風土を形成。 ・吉備地区には、撫川城跡、庭瀬城跡や犬養木堂の生家などの歴史文化資産がある。 ・中心部では「吉備津彦の鬼退治の神話」に登場する「温羅（うら）」を由来とするうらじゃ踊りが1994年から開催。 ・宮内踊り、建部地区のはっばね桜祭り、建部祭り、志呂神社御供、御津地域の獅子舞フェスタなどの地域の伝統行事が今に受け継がれている。 	自然景観	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部には旭川の水辺や西川・枝川緑道公園があり、ホテルも見られる。 ・オオタカやムササビ、スイゲンゼニタナゴ、ナゴヤダルマガエルなど貴重な野生生物が生息し、各地域で保全活動が行われている。 	特産品	<p>農産物：一宮・津高地区の桃やマスカットなどのぶどう、足守地区の温室メロン、牧石地区の黄にら、御津地区の山の芋、建部地区のヨーグルト</p> <p>水産物：旭川流域の鮎</p> <p>特産物：烏城彫り、烏城紬、撫川うちわ</p>
歴史文化伝統	<ul style="list-style-type: none"> ・古代吉備の昔から積み重ねられた豊かな歴史・文化資産があり、文化財数は本市の約75%を占めている。 ・中心部には岡山のまちのルーツとなる岡山城や岡山後楽園があり、外国人入場者数が近年増加傾向にある。 ・北西部には、造山古墳など全国屈指の大古墳、吉備津神社、吉備津彦神社、高松城跡や足守の陣屋町、近水園など古代吉備文化以来の歴史・文化遺産が数多く存在し、吉備路特有の豊かな歴史風土を形成。 ・吉備地区には、撫川城跡、庭瀬城跡や犬養木堂の生家などの歴史文化資産がある。 ・中心部では「吉備津彦の鬼退治の神話」に登場する「温羅（うら）」を由来とするうらじゃ踊りが1994年から開催。 ・宮内踊り、建部地区のはっばね桜祭り、建部祭り、志呂神社御供、御津地域の獅子舞フェスタなどの地域の伝統行事が今に受け継がれている。 						
自然景観	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部には旭川の水辺や西川・枝川緑道公園があり、ホテルも見られる。 ・オオタカやムササビ、スイゲンゼニタナゴ、ナゴヤダルマガエルなど貴重な野生生物が生息し、各地域で保全活動が行われている。 						
特産品	<p>農産物：一宮・津高地区の桃やマスカットなどのぶどう、足守地区の温室メロン、牧石地区の黄にら、御津地区の山の芋、建部地区のヨーグルト</p> <p>水産物：旭川流域の鮎</p> <p>特産物：烏城彫り、烏城紬、撫川うちわ</p>						

区別計画策定に向けた検討シート（北区）

公共 施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心部には、オリエント美術館、県立美術館、岡山シンフォニーホール、岡山シティミュージアム等の文化・芸術施設や、岡山コンベンションセンター等の交流施設が集積している。 ・ 県総合グラウンドは、ファジアーノ岡山のホームグラウンドであり、また、多くのスポーツ大会やスポーツ教室が開催されている。 ・ 岡山大学をはじめ、多くの高等教育機関が集積しており、学生の存在が地域に活力をもたらしている。 ・ 北西部には岡山空港など広域交通拠点が整備され、岡山リサーチパークが立地。 ・ 北部には豊かな自然をいかした八幡温泉郷やたけべの森公園、環境学習センター「めだかの学校」がある。
主な市の出先機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北区役所 ・ 2 支所（御津、建部） ・ 5 地域センター（一宮、津高、高松、吉備、足守） ・ 2 福祉事務所（北区中央、北区北） ・ 2 保健センター（北区中央、北区北） ・ 14 公民館（旭、足守、一宮、大元、北、吉備、京山、岡輝、岡西、高松、建部町、津高、御津、御南西）